

丸一／今日の研修は、このテーマで話す。よろしくお願いします。無意識に持っている、偏見について。

I. 職場や学校で人と接する。(1)と聞くと、持っていないと答える。多くの方は相手を理解していると言う。

ところが、自分でも気づかない偏見がある。(2)①が有名。

企業研修も行われている。自分で気づかず、フィルターをかけて見る。肌の色やジェンダーなど。

過去の経験、周囲の意見から形成される。偏見に無自覚だと、判断の単純化などが起きる。これが②。

(3)①は自覚しやすい。②は隠れている。自覚しにくい。しかし、人間の決定には、②が作用する。

(4)①。多くの方がやりがち。例えば、「最近の若者は、」など。無意識に一般化する。少ないサンプルなのに、属性全体をくくる。実際は、若い人も多様。高齢者もそう。みんな、こうとは言えない。でも、言いがち。

社会的なイメージもある。それが②。ブラジル人は、みんなサッカー好きなど。そんなはずはない。

誤った思い込みもある。根拠がない偏見。女性は理系が苦手。本当は違う。優秀な人はたくさんいる。相手を劣った存在と思う②は、やっかい。